



マレーシア向け「国際クール宅急便」開始

～日本の「旬」を新鮮なままお届け！～

国際クール宅急便

ヤマトホールディングス傘下のヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区・代表取締役社長 長尾 裕、以下ヤマト運輸）は、香港、台湾、シンガポール向けに続き、本年3月28日(月)より、日本発マレーシア向け一貫保冷小口輸送「国際クール宅急便」の販売を開始します。

記

1. 背景

近年経済発展の著しいマレーシアでは、高級志向・健康志向の高まりや、これまで大手デパートにしか置いていなかった日本の食材がスーパーや専門店、物産展でも見られるようになるなど、身近な食材となり、日本食の人気が高まっています。日本の事業者にとってはマレーシアでの需要の拡大や、TPP 協定による輸入関税の即時撤廃でビジネスチャンスが広がる予定です。

ヤマト運輸がこれまで香港、台湾、シンガポール向けに展開してきた「国際クール宅急便」は、沖縄県、ANA Cargo と連携し沖縄国際物流ハブを活用したスピーディーで高品質な一貫保冷小口輸送です。このたびのマレーシアへの展開により、マレーシアでの日本食ニーズや日本の農水産品の輸出拡大に貢献していきます。

2. 日本発マレーシア向け「国際クール宅急便」の特長

(1) 日本全国、荷物1個から発送

「国際クール宅急便」は、全国のセールスドライバーによる集荷や宅急便センターへの持ち込みで、荷物1個から発送できます。また、日本の「クール宅急便」と取り扱いサイズが同じため、日本国内と同様にご利用いただけます。日本食の人気が高まるマレーシアへ日々手軽に発送でき、ビジネスチャンスが大きく広がります。

(2) 終日集荷で最短翌々日のお届け

24 時間通関が行える沖縄国際物流ハブを活用した国際間のスピーディーな輸送により、最短で翌々日の午前中から、マレーシアヤマトのセールスドライバーが各店舗やご自宅へお届けします。

(3) 高品質な国際間の一貫保冷小口輸送でお届け

2011 年より宅急便事業を開始したマレーシアヤマト運輸は、日本と同様に保冷機能を完備した車両を使用し、マレーシア国内でクール宅急便を取り扱っています。また、日本国内はもちろん、シンガポールまでの空路、さらにシンガポールからマレーシアまでの陸路においてもヤマト運輸が保有する航空保冷コンテナを使用した保冷輸送を行います。マレーシアの消費者の手元にお届けするまで、ヤマトグループのネットワークで、新鮮な食材を、新鮮なままお届けします。



<日本でのお預りから、マレーシアでのお届けまで>



3. 受付開始日

平成 28 年 3 月 28 日 (月)

4. 輸送対象地域・サービスレベル

発送地域	発送締め切り時間	お届け先地域	お届け予定日時
関東・大阪府・沖縄県	終日集荷	クアラルンプール ペナン プトラジャヤ	最短翌々日 AM~
北海道・東北・北信越・中部・ 関西(大阪府を除く)・中国・ 四国・九州	AM集荷 AMお客さま持ち込み		

- ・一部地域で上記サービスレベルを適用できない場合があります。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。
- ・通関、検疫などの事由により予定日にお届けできない場合があります。

5. 利用料金

<料金表>

(免税)

サイズ	縦・横・高さの 3 辺計	総重量	国際宅急便運賃	クール付加料金	国際クール宅急便
60	60cm 以内	2kgまで	2,050 円	+4,000 円	6,050 円
80	80cm 以内	5kgまで	3,450 円	+8,000 円	11,450 円
100	100cm 以内	10kgまで	6,450 円	+12,000 円	18,450 円
120	120cm 以内	15kgまで	10,950 円	+16,000 円	26,950 円

- ・別途、関税等諸費用が発生する場合があります
- ・60 サイズとは、縦・横・高さの三辺合計が 60cm 以下で、かつ総重量が 2kg 以下のものになります。
- ・3 辺計のサイズと総重量のサイズが異なる場合は、大きい方のサイズの扱いとなります。

6. ご利用対象者

ヤマト運輸と契約し、「送り状発行ソフト B 2」をご利用いただけるお客さまが対象です。

- ・送り状発行ソフト B 2 は、普段お使いのパソコンとプリンタから簡単に送り状を発行できる無料ソフトウェアです
送り状発行ソフト B 2 : <http://www.kuronekoyamato.co.jp/newb2/newb2.html>

7. 今後の展開について

今後はマレーシア内でのお届け地域の拡大や、日本を含めた宅急便展開国同士の荷物の動きを活性化させ、「アジア No.1 の流通・生活支援ソリューションプロバイダー」を目指します。